

令和7年4月1日

保護者の皆様

昭島市立富士見丘小学校
校長 稲垣 達也

新たなステージ「学年担任制」

令和7年度が始まりました。本校は75周年という節目を経て、昨年度、**東京都教育委員会表彰**という栄誉を授かるに至りました。建学の精神を受け継ぎ、時代と共に進化を続けてきた成果であるとともに、何よりも皆様の御支援の賜物であり感謝の念に堪えません。

しかし、私たちの挑戦は、これで終わりではありません。

教育が未来を創る

「子供は未来の守護者」です。今の子供たちが平和な社会を守り、人類の未来を創造します。その子供たちを育てる教育は、未来を創る仕事であり、教育は未来からの負託です。本校は、今年度から**コミュニティ・スクール**の指定を受け、地域と一体となった学びの場として進化し続け、新しい時代に向けて更なる飛躍を遂げるべく、教職員一同、心を一つにして邁進していく所存です。

これからも皆様と共に歩んでいけることを楽しみにしております。よろしくお願ひ申し上げます。

新たなステージへ

さあ、富士見丘小学校の新たなステージの開幕です。新たな挑戦の始まりです。正解のない未知の課題に挑戦することへの少しの不安と、いっぱいワクワク感で、心が弾み、胸が高鳴ります。

先にお知らせした通り、本校では、今年度より**「学年担任制」**を導入します。

これまでの「学級担任制」は学級経営を一人の教員が担うものですが、これからの「学年担任制」は一人の教員に固定せず、学年教員全員で担当し、協働して学級経営を担います。

学年担任制は、これまで本校が貫いてきた**「垣根のない学校」**を、さらに一段高める根幹を形成するものです。学級の枠を外し、これまで以上に**「例外なく誰もが安心して過ごせる、一人一人にとって居心地の良い学校」**をめざします。

学年担任制の目的

このことについて、3月に保護者アンケートをお願いしました。その結果 [\(詳細はコチラ\)](#)、あくまでも実施前のイメージではありますが、**9割の方が学年担任制の効果に期待する**と肯定的に受け止めていただいている一方、**5割の方が不安な気持ちがある**ことが分かりました。

「子供にとって効果が期待できる」(約85%)…複数の担任が協働して学級経営を担う。複数の担任が複眼的に一人一人の児童に対応する。児童がどの教員にも相談しやすい。

「教員にとって効果が期待できる」(約91%)…一人一人の教員の強みを生かした授業や指導ができる。若手とベテランが学び合い、教員育成に寄与できる。学年で統一した指導ができる。

「不安がある」(約52%)…複数の担任だと、報告・連絡・相談など大丈夫か。情報共有や対応に齟齬が生じないか。それぞれの教員が無責任にならないか。

多様化する課題を乗り越えて

いずれにしても、社会の変化に伴い、学校教育を取り巻く状況は一層複雑になっており、学校や家庭、子供たちの課題も多様化しています。「個別最適な学び」や「協働的な学び」に象徴されるように、新たな教育の実現も大きな課題です。学年担任制が、それらの課題を解決する一助になるのではないかと考え、複数の教員がチームで対応する策を大きく進めることとしました。

「どうなるのかなあ」という不安を取り除き、円滑な移行を目指し、各学年の実態に応じた実効性のある方策・指導体制で、柔軟に運用して参ります。多様な御意見を真摯に受け止め、子供たちにとってデメリットがないよう、円滑な運営をしてまいります。 [\(詳細はコチラ\)](#)

この1年、皆様と共に、希望をもって歩んでいくことをお誓ひ申し上げます。